

## 〈第20回環境システム計測制御 (EICA) 研究発表会〉

## 全 体 報 告

環境システム計測制御学会企画委員長

高見澤 真 司

(メタウォーター(株))

第20回環境システム計測制御研究発表会は、10月23日(木)・24日(金)の両日横浜市開港記念会館で開催され242名の皆様の来場を頂きました。ご協力いただきました関係各ならびにご参加いただきました会員各位に厚く御礼申し上げます。

本研究発表会は、本学会が隔年で関東地区、関西地区で開催しているもので本年は2009年にオーストラリアケアンズにおいて開催される国際水協会(IWA)の計測・制御・自動化(ICA)に関する専門家グループによる国際会議に向けての国内におけるプレワークショップとしての位置づけも併せ持ちました。以下、本研究発表会の全体概要についてご報告致します。

研究発表会はまず本研究会の後援をいただきました横浜市環境創造局長 小松崎 隆様よりご来賓挨拶をいただきました。研究発表1日目は「地球温暖化防止エネルギー対策と技術戦略」をテーマにまず東京大学大学院工学系研究科電気工学専攻教授 山地憲治先生より「地球温暖化への長期的対応——ポスト京都の国際枠組——」と題して基調講演を頂きました。つづいて「地球温暖化防止エネルギー対策と技術戦略——21世紀日本の脱石油エネルギー時代への対応——」と題して山地先生を座長にお迎えし独立行政法人産業技術総合研究所エネルギー技術研究部門主幹研究員 赤井 誠先生、東洋大学経済学部社会経済システム学科教授 小川芳樹先生、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授 花木啓祐先生、東京ガス(株) 執行役員技術戦略部長 渡辺尚生様によるパネルディスカッションを行いました。

続いて、奨励論文の表彰式が行われ、「横浜市における下水道施設の維持管理」を含む6編の論文が奨励論文として選考され、田中会長より賞状と記念品が手渡されました。

会場をヨコハマ NEWS ハーバーへ移し開催された交流会では、ご来賓、パネラーの諸先生と参加者が、会話も弾み、有意義な意見交換の場となりました。

2日目は、EICAの基本趣旨である浄水、下水から維持管理、エネルギーまで環境システムの幅広い分野における、環境情報の計測、制御、管理に関する研究発表58編を12のセッションに分かれて研究発表を行



研究発表会会場



ご来賓の挨拶



基調講演の山地教授



研究発表会会場の様子

論文奨励賞  
受賞式

い、旺盛な討議と情報交換を行いました。また、本年は、新しい試みとして京都大学名誉教授 松井三郎先生を座長にお迎えしディスカッション方式の企画セッション「維持管理」を行いました。このセッションはパネラーとして委託側より横浜市水道局浄水部設備課担当課長 吉田 茂様、(社)日本下水道協会調査部専門調査役 小野良樹様、受託側より水道 O&M 研究会 技術委員会 根本 茂様、日本ヘルス工業(株) ウォーター事業統括本部本部長 出雲福夫様をお招きし、多角的視点から維持管理の民間委託について討議を行いました。

今回の研究発表会でなされた様々な情報交換、議論が、来年の研究発表会へとつながれ、さらに多くの研究成果が生まれることを祈念してやみません。



交流会会場風景